

West Library

千葉県立西部図書館だより

2010.2 第39号



Book Review ちょっと気になる新刊図書
「からだの一日」

Q & A 西部図書館

この1年で改善したことは？

教えて！レファレンス

秋田雨雀が読売新聞に書いた批評文
この花なみに？

セイヨウオダマキ、オダマキ

ごぞんじですか？

『国民読書年』

2010

国民読書年

平成20年6月6日に「国民読書年に関する決議」が衆参両院で採択され、2010年は『国民読書年』となりました。決議の中で「平成二十二年（西暦2010年）を新たに『国民読書年』と定め、政官民協力のもと、国をあげてあらゆる努力を重ねる」と宣言しています。「精神文明の変質と社会の劣化」を引き起こす一因である「読解力や言語力の衰退」を食い止め「心豊かな国民生活と活力あふれる社会の実現」をめざそうというものです。

西部図書館も「文字・活字」に親しむ機会を提供するべく、今年は様々な企画をご用意いたしますので、どうぞご期待ください。また、奮ってご参加のほどお願い申し上げます。



蔵書点検のお知らせ

3月1日(月)～9日(火)

この間休館となりますのでご注意ください。なお、他館資料のお取寄せに当たっては、ご利用期間等が平常と異なる場合がありますので、カウンターにてご確認ください。また、蔵書点検期間中、県立図書館の資料は、お近くの市立図書館にてお取り寄せができます。



行事予定

展示

『白洲正子生誕100年』

2/20(土)～4/15(木)

昨年NHKのドラマでも取り上げられた白洲正子の生涯に迫ります

図書館 まなびトーク

2/26(金) 13:30～

発表内容：

ホーキングの「時間順序仮説」を読んで考えさせられるもの(岩淵 梧郎さん)

“自分なりの図書館利用法”

- 新聞・雑誌を読む - (石橋 勲さん)



Book Review

ちょっと気になる新刊図書

ジェニファー・アッカーマン / 鍛原多恵子「訳」
からだの一日
あなたの24時間を医学・科学で輪切りにする



4913
305

早川書房
2009.10

2007年の初夏、南関東を中心に麻疹(はしか)が流行したことをご記憶だろうか。かくいう私も感染したひとりである。「なんで子供のときになっておかなかったんだ!」と恨みごとを言いたくなるほど、40歳を過ぎて感染したはしかは私を苦しめた。熱にうなされ朦朧とする意識の中で疑問がわいた。「どうしてこんなに熱が出るんだ?」「40度以上の熱で、私の身体の細胞は壊れたりしないのだろうか?」と。

《ナショナル・ジオグラフィック》《ニューヨーク・タイムズ》などに寄稿するサイエンスライターである著者は、

インフルエンザの経験によって自分とい

う存在が血と肉と骨の姿でこの世に生まれ出てあの世に逝くものだということを思い起こした。ならば自分の体についてももう少し知るのも悪くないと考えた。ウイルスはどう体に働きかけるのか、なぜ空腹感を感じるのか、昼食後の睡魔を避ける方法はあるのか、運動をするのに最も効果的なのはいつなのか...

目覚めてから就寝中までの24時間を、最新科学の成果を織り込みながら紹介しているこの1冊。私たちの体内で毎日当たりまえのように繰り返されているドラマは、かなり複雑で興味深い。



この1年で、改善したことは?

利用者みなさまにご満足いただけるよう、利用しやすい図書館づくりを目指し日々改善に努めております。

たとえばこの1年を振り返ると...

- * 雑誌のカウンター取り置きをやめ、ご利用の多い雑誌にはカバーをつけました。
- * 当日の新聞は、同一新聞社の朝夕刊を隣りに並べました。
- * コピー機やマイクロリーダーの使い方を表示しました。
- * 社会人席の利用券の裏には場所がわかりやすいように全体の見取り図を添付しました。
- * 求人情報やジョブカフェのチラシ、就職関係の資料を集めた就業支援コーナーを設けました。...などなど。

今後とも利用しやすい環境づくりに努めてまいります。

できることから少しずつ改善してまいります。



教えて！レファレンス

レファレンスとは皆様の「調べもの・探しもの」のご質問に、私ども図書館職員が図書館の資料や情報を使って調査し、回答するものです。カウンターはもちろん、図書館ホームページからでも受け付けています。ぜひ、ご相談ください。

*ご質問の内容によっては、お答えできないことがあります(学習課題、懸賞問題等の解答、身上相談、医療相談、法律相談など)。詳しくはお問い合わせください。



大正4年(1915年)12月、
秋田雨雀が読売新聞に書いた批評文を探している。

回答プロセス

1 レファレンスのきっかけ(出典)

『秋田雨雀日記 第1巻』には、武者小路実篤作の戯曲「二つの心」について、「大正四年十二月二日(略)武者の「二つの心」をみる。(略)...十八日(略)武者君のぼくにたいする反ばく文のことをきき、バアへより、時事をみる。もういっぺん読売へかく、下書きをかいた。(略)」と批評文を書いたことが記述されている。

2 まずは新聞記事検索のCD-ROMを使って

大正期の読売新聞記事が検索できるCD-ROM『大正の読売新聞』(県立中央・東部所蔵)の検索を県立中央図書館新聞雑誌室へ依頼する。大正4年12月分を「秋田雨雀」で検索すると、12月26日「日曜付録 武者小路君に「二つの心」に就いて/秋田雨雀」という記事が見つかったとのこと。



3 「もういっぺん読売へかく」の謎...(年譜からのアプローチ)

読売新聞の記事は1件しか見つからなかったため、調べる対象を年譜や武者小路実篤関係の資料に広げて、当時の記録を探す。

『秋田雨雀研究』p317の年譜、作品の欄には「十二月7~13日 武者小路氏作「二つの心」の上演 時事新報」とある。秋田雨雀は1の日記の日付以前にも時事新報に批評を書いていたようだ。

『武者小路実篤全集 第18巻』p553の作品年表には、「秋田雨雀君に」(大4・12・11執筆、時事新報大4・12・17発行)があり、同全集第3巻に収録されていることがわかる。内容を確認すると秋田雨雀の批評に対する反論である。

戯曲「二つの心」について調べると、「白樺」論争--「二つの心」上演をめぐる近代日本文学論争の系譜(特集) (紅野 敏郎著「国文学：解釈と鑑賞」35(7) [1970.6])という論文があり、秋田雨雀が「時事新報」(大正4年12月7日、11日)誌上において、「武者小路氏の『二つの心』の上演」という一文を書いていることがわかった。

～ から、2で調べた読売新聞掲載の批評文以前に、時事新報に2人のやりとりが掲載されていたようだ。もういっぺんとは「もういっぺん(今度は時事新報ではなく)読売へかく」の意と思われる。「時事新報」は県内図書館に所蔵がないが、国会図書館からコピーを取り寄せることができる。

ポイント

県立図書館では、新聞記事を検索できるCD-ROM索引やデータベースの検索ツールをご用意しています。明治期からの古い新聞もマイクロフィルムや縮刷版で紹介しています。新聞の所蔵状況は千葉県立図書館ホームページで公開しています。☞ 千葉県立図書館トップページ 資料のご案内 新聞リスト



役立ち『大正の読売新聞』CD-ROM アイテム紹介 (県立中央・東部所蔵)

1912年(明治45年7月30日)から、1926年(昭和元年12月30日)までの記事など約56万5000本と紙面をデータベース化したもの。シリーズに「明治の読売新聞」(県立中央・東部所蔵)「昭和の読売新聞(戦前・)」(県立東部所蔵)もあります。

この花なあに？

図書館の利用者の方から「この花はなんですか？」とご質問いただくことがあり、『この花なあに？』を連載しています。第4回は、図書館の庭で可憐に咲いている、愛らしい花です。

図書館駐車場で4月中旬撮影 **セイヨウオダマキ(西洋苧環 Aquilegia vulgaris, columbine)**



ヨーロッパ自生のキンポウゲ科の多年草。園芸植物としても好まれ、約50種類ある。英名のアクイレギア/Aquilegia はラテン語で鷲(わし)のかぎつめを、コロンバイン/columbine は鳩を意味している。八重咲きや上向きに咲くものも多い。イギリスでは古くから庭に植えられ、貴族の紋章にも用いられた。「捨てられた恋人」に喩えた詩『英国田園詩』もある。シェイクスピアは『ハムレット』の作中で「There's fennel for you, and columbines. There's rue for you.(このウイキョウとオダマキは王様へ。このヘンルーダはお妃様へ。)」とオフエーリアに歌わせている。アメリカのコロラド州ではロッキーマウンテンオダマキが州花。基督教ではキリストと聖霊に捧げる花。

オダマキ(苧環・系線草 Aquilegia) 写真は『花歳時記大百科』p38・39 より



日本でも古くから庭に植えられ、4～8月にかけて咲く。オダマキの名は、花の形が苧環、すなわち紡いだ麻糸を中を空にして丸く巻いた糸巻きに似ていることから付けられた。高山に自生するミヤマオダマキやヤマオダマキは、可憐さと強さを併せ持つ。うつむきつつ凜とした花容から、静御前を連想する人も多い。捕らわれの身の静御前が、鶴岡八幡宮の社頭で白拍子の舞を舞い「しづやしづしづのをだまき繰りかへし昔を今になすよしもがな…(静よ静よと、何度も繰り返し名前を呼んでくださった義経様との懐かしい昔に、もう戻るすべはないのでしょうか。)’義経記』と歌ったことによる。この歌の本歌は、在原業平の「いにしへのしづのをだまき…『伊勢物語』」で、苧環を繰り返し繰るように、昔の恋仲に戻れたら良いのにといい思いが詠みこまれていた。



た花容から、静御前を連想する人も多い。捕らわれの身の静御前が、鶴岡八幡宮の社頭で白拍子の舞を舞い「しづやしづしづのをだまき繰りかへし昔を今になすよしもがな…(静よ静よと、何度も繰り返し名前を呼んでくださった義経様との懐かしい昔に、もう戻るすべはないのでしょうか。)’義経記』と歌ったことによる。この歌の本歌は、在原業平の「いにしへのしづのをだまき…『伊勢物語』」で、苧環を繰り返し繰るように、昔の恋仲に戻れたら良いのにといい思いが詠みこまれていた。

資料のご紹介 『花の西洋史事典4723/2』『花を愉しむ事典 神話伝説・文学・利用法から花言葉・占い・誕生花まで3823/3』『山草野草のがーデニング 627/KI55』『日本植物方言集成47034/2』

～図書館からのお願い～

返却期限を守ってお返しください！

返却期限を過ぎてもお返しいただけないために、他の方が利用できないことが多く見られます。2週間ご利用が終わらない場合は、期限内であれば、予約のない限り、1度だけ、その日から2週間の延長ができますので、図書館までお電話ください。

公共交通機関をご利用ください！

当館の駐車場はとても狭いため、常に混雑をしております。なるべく公共交通機関をご利用ください。

本や雑誌の寄贈をお願いします！

参考図書・専門書などを集めています。詳しくは西部図書館資料課収集係まで。
TEL：047-385-4133

○編集後記○

今年は「国民読書年」。本や雑誌は売り上げが落ち込んでいる中、ケータイ小説や、パソコンで閲覧できるデジタルライブラリーが増えてきています。また、アメリカでは、本や新聞・雑誌が閲覧できる電子ブックが爆発的に売れていると聞きます。これまでの活字本とは違った読書のスタイルが始まっているようです。コタツに入って本を読むなどという姿も、そのうちなくなるのかもしれませんが。うっとりとした本の挿絵に眺め入り煙草の煙吹きかけてみる(啄木)。

West Library 千葉県立西部図書館だより

発行日:平成22年2月16日

編集:千葉県立西部図書館

〒270-2252

千葉県松戸市千駄堀657-7

TEL 047-385-4133

<http://www.library.pref.chiba.lg.jp/>

ISSN:0918-7383